

質問書に対する回答

(件名) 東北自動車道 思川橋耐震補強工事

質問書No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 25-8 落橋防止工 25-8-2 落橋防止構造	2023年11月2日付け質問書に対する回答9 No. 1において、落橋防止構造 P1-a (b) の作業内容においては、「4) 下部工ブラケット背面のチッピング」の作業と、25-15 鋼製ブラケットの作業内容「3) 鋼製ブラケットを設置するコンクリート面のチッピング」と同様な作業、とご回答されています。チッピングは落橋防止構造、又は鋼製ブラケットのどちらの単価表に計上するのでしょうか。ご教示願います。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	特記仕様書 25-8 落橋防止工 25-8-3 段差防止構造M	段差防止構造M設置工の作業内容には無収縮モルタル打設の作業がないため、土木積算基準P. 31-41の鋼製ブラケット設置工代価表の無収縮モルタルの数量を0と考えてよろしいでしょうか。また、不陸調整用樹脂パテ材の施工の作業がありますので、パテ材の数量をご教示願います。	無収縮モルタルについては不要です。不陸調整用樹脂パテ材の数量については、設計図面より想定される数量を計上してください。
3	設計図 思川橋 図面番号34/255	図面番号34/255に示している正面図・側面図からすると、緩衝材の寸法は200×50×1850となっています。しかし、同じ図面の「1箇所当り(製作数:共5箇所)」の材料表に「緩衝材250x50x2350」となっており、整合性が取れていません。どちらの緩衝材の寸法で考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
4	設計図 思川橋 図面番号103/255	図面番号103/255に示している正面図・側面図からすると、緩衝材の寸法は300×50×1550となっています。しかし、同じ図面の「1箇所当り(製作数:共5箇所)」の材料表に「緩衝材200x50x2350」となっており、整合性が取れていません。どちらの緩衝材の寸法で考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
5	設計図 思川橋 図面番号133/255	図面番号133/255に示している正面図・側面図からすると、緩衝材の寸法は200×50×1850となっています。しかし、同じ図面の「1箇所当り(製作数:共5箇所)」の材料表に「緩衝材200x50x2350」となっており、整合性が取れていません。どちらの緩衝材の寸法で考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。

質問書に対する回答

(件名) 東北自動車道 思川橋耐震補強工事

質問書No.	質問箇所	質問事項	回答
6	設計図 思川橋 図面番号200/255	図面番号200/255に示している正面図・側面図からすると、緩衝材の寸法は300×50×1550となっています。しかし、同じ図面の「1箇所当り(製作数:共5箇所)」の材料表に「緩衝材200x50x2350」となっており、整合性が取れていません。どちらの緩衝材の寸法で考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
7	割掛対象表参考内訳書 【共通仮設費】 塗膜成分調査費	塗膜成分調査費には、打合せ協議及び報告書作成が含むと考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	打合せ協議は含まず、報告書作成は含むものとお考えください。
8	割掛対象表参考内訳書 【共通仮設費】 剥離剤養生設備工費	塗膜剤養生設備工費についてそれぞれの橋梁について面積が記載されていますが、主体足場と側面足場の面積の内訳をご教授ください。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
9	割掛対象表参考内訳書 【共通仮設費】 工事用道路費	工事用道路費に思川橋:600m ² と記載がありますが、これは不陸整正または敷鉄板の数量でしょうか。両方の数量でしょうか。不陸整正の数量となると数量計算書訂正分(140/187)とは数量が異なります。ご教授ください。 また設置期間7カ月とありますが、特記仕様書25-19-3では思川橋の工事用道路の設置及び撤去の期間は5カ月(11月~3月)と記載があります。どちらが正しいのでしょうか。ご教授ください。	現在確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。